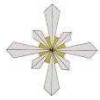


向陽中学校だより<第10号>



走れ向陽!

～夢の実現めざして～

<学校目標> 「知性」「品格」「至誠」「体力」を身につけた活力ある生徒
<重点目標> 他とつながり、自己の目標達成に向け全力で努力できる

平成29年9月29日(金)
<発行者> 校長 箭内仁史
〒976-0037
相馬市中野字桜町76
TEL.35-2348 Fax35-2849

「第61回相馬地方PTA研究大会・鹿島大会」

今月23日(土)に、相馬地方PTA研究大会・鹿島大会が開催され、本校PTAを始めとして市PTA、相馬地方PTA、県PTAの発展にご尽力をいただきました前PTA会長の渡邊さんが感謝状を贈呈されました。大変お疲れ様でした。改めて感謝申し上げます。

また、講演会では日本レストランエンタプライズ「駅弁マイスター」の三浦由紀江さんより、「仕事は楽しく 自分に限界をつくらない」～楽しむ心が道を拓く～と題した講演がありました。三浦さんは23年間の専業主婦生活を経て、44歳時にJR上野駅の駅弁販売でパートデビューし、53歳時に異例の抜擢で総括店長に就任。1年間で駅弁売り上げを5000万円アップさせ、年商10億円超を達成しました。少しの事でよくよせず、常に元気で明るく、お客様の立場や目線での接客態度が好感を呼び、リピーターを増やしていったようです。苦労話や失敗談もありましたが、謙虚に反省し、改善していく前向きな姿勢は大変勉強になりました。特に、印象に残った内容をご紹介します。

- 接客は、最高の演技と演出で提案。マニュアルを超えて自分らしく。
- 現場に足を運ぶ。共に開発、共に販売。失敗を恐れず、あきらめない。
- 人が育つ環境を作る。一人の力には限界が、チームは力は無限大。競争と協力。楽しんでる人には誰もかなわない。
- ◎ 最後に、学歴がなくても、仕事の経験がなくても、年齢が高くても、関係ない。大切なのは自分で限界を作らない事。頑張ってきたことは必ず成果につながる。自分の仕事を楽しみながら、勇気をもって先ず一步を踏み出してほしい。

社会人出前講座～生き方を考える～

27日(火)に3年生を対象に社会人出前講座を実施しました。キャリア教育の一環として、教育長認定創意工夫支援事業を活用し実施しました。4人のファシリテーターの方々により授業が進行されました。前半は東京で活躍しておられる4人の社会人の方々(化粧品広報担当、JICA職員、コンピュータ研究員、製薬研究員)から、貴重な経験談をお話いただき、後半は講師の方々へ生徒からインタビューを行うワークショップを行いました。

本校では自分の生き方を考えるキャリア教育を重要な教育活動ととらえ、継続的に取り組んでいます。下は授業後の生徒の感想です。



- 自分のできること、できないことを振り返ってみると、少し決めつけてしまっている所があったかなと気づくことができました。
- 人というものはこんなにも変われることに驚きました。
- 楽しいことを仕事にするということも良いと思いました。
- 私には“将来の夢”というものがありませんが、急いで考えなくてもいいのかなと思いました。自分ができることを増やしていろいろな可能性を広げたいです。
- 興味のあることやないことでもいろいろやってみて、自分のなりたい職業を見つけたい。
- 人との関わり合いを大切に、コミュニケーション能力を身に付けたい。
- 夢はいくつあってもよい。途中でどんな事があっても努力し続ける。

裏面もご覧ください

未来につながる2年生職場体験

一方26日、27日に、2年生は職場体験を実施しました。現場で働く社会人の方々から、仕事のやりがいや苦勞を感じ、自分の将来の夢や目標をつかむ一助となる貴重な経験をすることができました。真剣に取り組む子どもたちの仕事ぶりに、多方面からお褒めの言葉をいただきました。



2日(月)	衣替え	15日(日)	福島県PTA研究大会いわき大会
4日(水)	県駅伝大会(～5日)	23日(月)	向陽祭準備(～27日)27日は弁当
9日(月)	Ⓞ 体育の日	28日(土)	向陽祭
11日(水)	後期生徒会総会	30日(月)	繰替休業日

学校長指示・示達事項

(9月22日の職員会議で示した一部です。)

【10月】学校経営の重点

「豊かな実りと充実の2学期」を目指して
～学力の向上、自ら考え進んで「自己表現」～

10月の学校生活目標「落ち着いた学校生活を送ることができる」

◇実践の重点<生活リズムの確立 身辺の環境整備>

(・後期の委員会活動 ・読書・新聞への興味、関心 ※部活動の新旧交代に伴う、責任感の指導を行う)

1 向陽中の生徒一人ひとりに「確かな学力」の定着を。

(1) 「自ら考え、学び合う授業」「意欲や質問のある授業」を積み重ねる。

○どの生徒も学習が成立している授業。→ペア、グループ学習を取り入れても最終的に『学習は個に成立する』。(終末、自分でまとめることができる。)

生徒の発表後の教師の投げかけ

「それは本当かな」→「本当だよ。なぜなら、・・・」(人の話を批判的に聴く姿勢)

「どう？」→「全く分かりません」「よくわかりました」「ここが分かりません」

「付け足して言いたい」(反応ができる)

(2) 個に応じた指導、習熟の程度を考慮した指導、主体的な学習態度を育成する。

○上位生徒、下位生徒、個に応じた指導・支援・助言

○家庭学習の充実・宿題や課題の工夫、補充指導、居残り学習等の実施

(3) 現職教育、授業研究の実践を通して、教師自身の確かな力量をつける。

○『授業スタンダード』の実践で「確かな学力」の定着

○校内の授業研究(授業構想、授業案作成、研究授業、事後研究)の充実

(4) (9/11) 臨時職員打合せでの共通実践の徹底

○結果を残す

2 全校(生徒・教師・保護者)一丸となって心に残る「向陽祭」(10/28)に。

(1) 生徒主体の取り組みで(テーマ「絆」～for our smile～)希望を持たせる。

○生徒会役員・実行委員会が中心となった企画・準備・運営で感動を与えるものを

○生徒一人一人が輝く場、堂々と自己表現できる場を設定して、満足感、達成感を

○共に知恵を出し合い、協力して作り上げる喜びを

※学習成果の発表の場であることを意識させて

(2) 教師としての指導の充実を図る。

○進んで自己表現：生徒の意欲や主体性を最大限引き出すような指導・支援を

○おりめ・まじめ・けじめの徹底：礼儀、善悪の判断、根気強く、時刻・服装のけじめ、準備と後片付けの徹底

(3) 保護者・PTAの理解と協力を得る。

3 学校行事に本気になって取り組む姿、自己表現する姿を。～目標を持たせて～

◎生徒会総会(10/11) ◎向陽祭(10/28) ◎相新音楽祭(11/2) . . .